

## 近代日本障害児教育史関係文献目録 (Ⅱ)

平 田 勝 政

### A Bibliography on the Historical Study of Education for the Handicapped in Modern Japan (Ⅱ)

Katsumasa HIRATA

はじめに

本目録は、本誌第43号(1992年)掲載の同名の目録(=これを目録(I)とする)を補充・追加したものである。収録の基準・対象範囲・記載の形式等については前回と同様である。内容的には、①戦前における歴史研究の主要なものを新たに収録し、②戦後～1991年12月までにおける歴史研究で前回の目録(I)で漏れているものを補充し、③さらに1992年1月～1997年3月までの約5年間に公表された歴史研究を追加している。但し最近発行のものについては把握できていないものがありうる。またそれだけにとどまらない思わぬ遺漏もあるかもしれない。しかし目録(I)(Ⅱ)によって戦前の主要な遺産と戦後憲法・教育基本法制50年下における歴史研究の成果の大部分は把握できているものと考えられる。戦後障害児教育(特殊教育)50年という節目の年(=1997年)をむかえるにあたって、戦前及び戦後50年の障害児教育史研究が、近代日本における障害児教育(特殊教育)の成立・展開過程と戦争によるその悲劇的な結末の歴史をどこまでトータルに認識しえているのかを点検し、歴史研究の課題と方法をより一層明確化していく自覚的作業がきわめて重要になってきている。というのも筆者は、この近代日本の障害児教育の歴史的総括なくして戦後障害児教育50年の意味も、21世紀の展望を正しく方向づけ見通すことも不可能であると考えからである。目録(I)(Ⅱ)を作成してあらためて気づかされることは、戦前にあって「特殊教育」の「不振」を嘆き時代の制約と格闘しながらその「不振」を克服しようとした開拓者たちは、川本宇之介らに示されるように、歴史研究を一貫して重視し自ら追求していることである。時代の開拓者たちは、常に歴史を自ら掘り起こし、内外の歴史に学び見通しを得て新たな歴史を拓いているのである。また歴史研究は、現状を打開し、より高い歴史的自由を保障する次の峰に到達しようとする強い志向性とそれを求める時代の要請の自覚があつてはじめて研究の持続性が確立されていることも示している。50年を迎えた戦後日本の障害児教育(特殊教育)は、いまインクルージョンを原則として転換期に突入している。21世紀の日本の「特殊教育」がインクルージョンの方向で「教育を受ける権利」を保障していくためには、①戦前から樋口長市・川本宇之介らが問題にした戦前の近代日本における「特殊教育」の「不振」の要因とその構造、②戦後の現代日本を支配している別学・分離型の「特殊教育」の成立要因とその教育=社会構造がまずもって解明されなければならないであろう。これら日本固有の歴史的地層と土壌の分析なくして外国産の理念を移植しても、またそれがどんなに正当な理念であっても、日本の大地に根づくことは容易なことではないであろう。近代日本障害児教育史研究は、この①の課題(①の克服が②を成立させる歴史的前提である)の解明を中心としつつ、これまでいかなる成果をあげ、さらにどのような課題を残しているのか、その点を目録(I)(Ⅱ)の文献を通して整理・検討していきたい。(1997.3.15)

## (1) 戦前編

No.	著者名	著書・論文名	誌名・巻号／発行所	頁	発行年月	備考
1	小西 信八	日本盲啞教育の起源	「教育時論」第635号	26-29	1902(M.35)-12	
2	石川 重幸	『盲人教育』 *「第三章 盲人学校」(pp.55-66)	育成会発行	全158頁	1902(M.35)-12	
3	石川 重幸	我国盲教育の起原及び発達	「帝国教育」第436号	30-35	1918(T.7)-11	
4	川本宇之介	聾啞教育の過去現在と将来	「日本教育」(南郊社)第4巻第5号	56-64	1925(T.14)-5	
5	川本宇之介	『聾教育概説』 *「第一編第四章 本邦に於ける 聾教育の沿革」(pp.55-66)	中文館	全284頁	1925(T.14)-7	
6	川本宇之介	古河先生と其の聾教育思想	「口話式聾教育」第1巻第2号	49-59	1925(T.14)-5	
7	町田則文編	『盲教育五十年記念誌』		全147頁	1925(T.14)-10	
8	川本宇之介	『聾教育概観』*第7～8章	盲人信楽会	全220頁	1928(S.3)-5	
9	丸川仁夫編	『日本盲啞教育史』	京都市立盲学校・京都市立聾啞 学校同窓会	全165頁	1928(S.4)-10	
10	川本宇之介	日本における聾教育の沿革と現状	『聾口話教育』第9巻第9号	12-29	1933(S.8)-9	
11	町田則文先生 謝恩事業会編	『町田規文先生伝』	同会発行	全328頁	1934(S.9)-1	
12	川本宇之介	本邦に於ける聾啞教育の沿革と将来 の理想(『日本耳鼻咽喉科学全書 (第10分冊)』第3巻の2 所収)	克誠堂書店	185-204	1934(S.9)-3	
13	川本宇之介	聾啞教育の先覚者山尾庸三	『聾口話教育』第10巻第5号	32-33	1934(S.9)-5	
14	川本宇之介	『内外盲人教育史概要』 *第九章～第十二章(pp.157-237)	謄写版	全311頁	1935(S.10)-2	
15	秋葉 馬治	我が国盲教育の発達(1)	「中央盲人福祉協会誌」第2号	18-32	1935(S.10)-2	
16	秋葉 馬治	我が国盲教育の発達(2)	「中央盲人福祉協会誌」第3号	14-24	1935(S.10)-6	
17	川本宇之介	楽善会訓盲院初代院長・大内青巒 居士の略伝と功績	『聾口話教育』第11巻第10号	4-22	1935(S.10)-10	
18	東京聾啞学校	『東京聾啞学校六十年史』	東京聾啞学校	全466頁	1935(S.10)-10	
19	東京盲学校	『東京盲学校六十年史』	東京盲学校	全481頁	1935(S.10)-11	
20	秋葉 馬治	我が国盲教育の発達(3)	「中央盲人福祉協会誌」第4号	1-9	1935(S.10)-11	
21	川本宇之介	訓盲啞院の設立経過並に初期教育 状況(一)(二)	『聾口話教育』第11巻第11号、 第12号	(一)9-20 (二)12-22	1935(S.10)-11 1935(S.10)-12	
22	日本聾啞教育協会	本邦聾啞教育六十年の回顧	『聾教育』第32号	全146頁	1935(S.10)-12	
23	秋葉 馬治	我が国盲教育の発達(4)	「中央盲人福祉協会誌」第6号	13-24	1936(S.11)-12	
24	大河原欽吾	『点字発達史』	培風館	全298頁	1937(S.12)-3	
25	秋葉 馬治	我が国盲教育の発達(5)	「中央盲人福祉協会誌」第7号	5-18	1937(S.12)-4	
26	大河原欽吾	『盲教育概論』 *「第七章 盲教育史」中の「後篇 我国の盲教育」(pp.226-249)	培風館	全264頁	1938(S.13)-4	
27	橋本網太郎 (編輯代表)	『盲啞教育の師父 ・小西信八先生小伝と追憶』	日本聾啞協会／日本聾啞協会／ 東京聾啞学校同窓会発行	全110頁	1938(S.13)-10	
28	樋口 長市	『特殊教育』 *「第三章 特殊教育史」 (日本関係の歴史は、 pp.115-118及びpp.137-142)	建文館	全529頁	1939(S.14)-7	

No.	著者名	著書・論文名	誌名・巻号／発行所	頁	発行年月	備考
29	川本宇之介	特殊教育の意義と領域並にその発展経路の概観 —特殊教育研究(その一)—	「文部時報」第662号	7-21	1939(S.14)-8	
30	川本宇之介	特殊教育の発展と現状の比較概要— 特殊教育研究(その二)—	「文部時報」第668号	11-28	1939(S.14)-10	
31	川本宇之介	特殊教育の発展と現状の比較概要— 特殊教育研究(其の三)—	「文部時報」第670号	16-33	1939(S.14)-10	
32	川本宇之介	特殊教育の教育的、社会的並に文化的意義の考察 —特殊教育研究(其の四)—	「文部時報」第672号	32-44	1939(S.14)-11	
33	川本宇之介	特殊教育に関する法規の研究 —特殊教育研究(其の五)—	「文部時報」第673号	25-38	1939(S.14)-11	
34	川本宇之介	【聾教育学精説】 *「歴史篇」の「第二篇 本邦聾教育史要」(PP.127-248)	信楽会	全658頁	1940(S.15)-12	

## (2) 戦後編(その1) —1947~1991年—

- (1) 本誌第43号の「近代日本障害児教育史関係文献目録(Ⅰ)」(No.1~544)を参照  
 (2) 「近代日本障害児教育史関係文献目録(Ⅰ)」の補遺

No.	著者名	著書・論文名	誌名・巻号／発行所	頁	発行年月	備考
1	伊佐治清市	『岐阜盲学校六十年誌』	岐阜県立盲学校発行	全140頁	1954(S.29)-5	
2	杉田 裕	我国における最初の特種学級	「精神薄弱児研究」第1巻第1号	18-21	1956(S.31)-12	
3	川本宇之介	山尾庸三氏とろう教育(山口県立ろう学校『開校五十周年誌』所収)			1957(S.32)	
4	北海道教育研究所編	『学業不振児および精神薄弱児等の教育』	北海道教育大学発行		1963(S.38)	
5	清水 寛・津曲 裕次	坂本龍之輔と貧児教育(『近代日本の教育を育てた人びと(下)』所収)	東洋館出版社	111-133	1965(S.40)-5	
6	加藤 康昭	盲人史研究の現状	「新時代」第3号	20-23	1965(S.40)-6	
7	大島 正徳	京都市に於ける精神薄弱児教育の成立過程	「精神薄弱問題史研究紀要」第5号	44-49	1967(S.42)-7	
8	田村 肇	精神薄弱児教育五十年	「精神薄弱児研究」第109号		1967(S.42)-10	
9	京都精神薄弱者育成会編	『道しるべ—創立15周年記念誌—』	同会発行	全387頁	1969(S.44)-9	
10	清水 寛	近代精神薄弱教育史研究—産業革命の進行と精神薄弱教育問題の成立—	「精神薄弱問題史研究紀要」第8号	47-66	1970(S.45)-10	
11	喜田 正春	荒木善次先生と精薄教育	「精神薄弱問題史研究紀要」第8号	67-71	1970(S.45)-10	
12	宮城 康輝(編集責任)	沖縄盲学校五十周年記念誌	沖縄盲学校発行	全154頁	1971(S.46)-5	
13	柴田 善守	高木憲次(吉田久一他著『人物でつづる近代社会事業の歩み』所収)	全国社会福祉協議会	207-215	1971(S.46)-5	
14	中江 義照	日本の盲教育の発展(『世界盲人百科事典』所収)	日本ライトハウス		1972(S.47)	
15	長沼 幸一	昭和(戦前・戦後)における第五部(創立百周年記念事業委員会編『東京教育大学附属小学校教育百年史』所収)	同委員会発行	741-743	1973(S.48)-1	

No	著者名	著書・論文名	誌名・巻号/発行所	頁	発行年月	備考
16	小林 一宏	弱視教育の変遷 —「視覚障害教育百年のあゆみ」から—	「弱視教育」第14巻第3号	33-	1976(S.51)-8	
17	菊池 義昭	川田貞治郎の「教育的治療学」に関する一考察	「愛護」第230号	43-52	1977(S.52)-1	
18	佐賀県特殊教育百年記念会	『佐賀県特殊教育史 —特殊教育百年記念—』	同記念会発行	全183頁	1978(S.53)-12	
19	村田 茂	肢体不自由教育史	「肢体不自由教育」第39号	50-58	1979(S.54)-3	
20	江上 芳郎	戦前の障害児の学校 (仲新監修『学校の歴史 第2巻 小学校の歴史』所収)	第一法規	347-358	1979(S.54)-5	
21	山田 勲	『岩手の特殊教育の父・柴内魁三伝』	柴内愛育会発行	全261頁	1979(S.54)-8	
22	創立八十年記念事業実行委員会	『長崎県立盲学校創立八十年記念誌』	長崎県立盲学校	全156頁	1979(S.54)-11	
23	愛知県立名古屋聾学校	『名聾八十年史』	同校発行	全333頁	1981(S.56)-11	
24	野沢 千春	明治後期における「劣等児・低能児」観	「茨城の障害者問題研究」創刊号	36-43	1984(S.59)-3	
25	唐澤富太郎 (他)	障害児教育に光を掲げた人々 (唐澤富太郎編著『図説 教育人物辞典 中巻』所収) *戦前の関係者概観・障害児教育の展開	ぎょうせい	449-499	1984(S.59)-4	
	①唐澤富太郎	古川太四郎—創意工夫による盲聾教育を開拓—		449-451		
	②加藤康昭	伊沢 修二—楽石社を創設し、吃音矯正教育に尽くす—		452-456		
	③唐澤富太郎	小西 信八—盲聾哑教育の師父—		456-460		
	④唐澤富太郎	町田 則文—盲教育に尽くした明治国民教育の実践的教育学者—		460-464		
	⑤鈴木博雄	石川 倉次—日本点字の完成者—		464-466		
	⑥加藤康昭	石井 亮—精神薄弱児教育の創始者—		466-469		
	⑦津曲裕次	白井 常吉—日本で最初の特殊学級を担任—		469-470		
	⑧津曲裕次	西川吉之介—わが国口話教育の父—		470-472		
	⑨加藤康昭	脇田 良吉—成績不良児教育の先駆者—		472-474		
	⑩津曲裕次	川田貞治郎—精神薄弱児の教育的治療法を創造—		474-476		
	⑪清水 寛	長岡 重孝—名古屋盲学校の創設者—		476-479		
	⑫伊藤敏行	保坂 元哉—盲聾教育に尽くした異色の教育者—		479-480		
	⑬高島順吉	川本宇之介—盲聾教育の改革者—		480-482		
	⑭加藤康昭	高木 憲次—肢体不自由児療育の開拓者—		482-483		
	⑮石部元雄	後藤 綾子—東京高師附属特殊学校の教育に尽くす—		484-485		
	⑯唐澤富太郎			493-498		
26	玉井 収介	わが国における障害をもつ子の教育(1)	「帝京大学文学部紀要 (教育学)」第10号	1-23	1985(S.60)-3	
27	伊藤 和男	大正後期における教育政策の新展開 —「教育的社会政策」をめぐって—	「天理大学学報」第145輯	39-54	1985(S.60)-3	
28	竹田 洋	私立置賜盲学校の沿革	「山形大学紀要 (教育科学)」第9巻第1号	31-44	1986(S.61)-1	
29	松矢 勝宏	『就学児童保護施設の研究 (文部省普通学務局)』(現代日本児童問題文獻選集3)の「解題」	日本図書センター	全14頁	1986(S.61)-10	

No	著者名	著書・論文名	誌名・巻号／発行所	頁	発行年月	備考
30	北沢 清司	『劣等児及低能児の心理と其教育（青木誠四郎著）』（現代日本児童問題文献選集5）の「解題」	日本図書センター	全12頁	1986(S.61)-10	
31	小川 克正	『欧米の特殊教育（樋口長市著）』（現代日本児童問題文献選集7）の「解題」	日本図書センター	全14頁	1986(S.61)-10	
32	北野 与一	『異常児の病理と矯正体操（真行寺朗生著）』（現代日本児童問題文献選集10）の「解題」	日本図書センター	全13頁	1986(S.61)-10	
33	津曲 裕次 (研究代表)	精神薄弱教育における教材教具の理論と開発に関する研究（文部省昭和61年度科学研究費補助金（総合研究A）中間報告書）		全158頁	1987(S.62)-3	
34	津曲 裕次	『特殊な子供の研究（尾高豊作著）』（現代日本児童問題文献選集16）の「解題」	日本図書センター	全11頁	1987(S.62)-6	
35	杉浦 守邦	『治療教育学（杉田直樹）／異常児童の病理（杉田直樹）』（現代日本児童問題文献選集18）の「解題」	日本図書センター	全15頁	1987(S.62)-6	
36	山田 明	『伸びかけ子供（後藤岩男著）』（現代日本児童問題文献選集19）の「解題」 *「解題」の表題は、「東京高等師範付属小学校五部の教育実践と後藤綾子」	日本図書センター	全20頁	1987(S.62)-6	
37	船橋秀彦・ 清水 寛	茨城県における「特別学級」の成立過程	『地方教育史』第8号	159-175	1987(S.62)	
38	山田 明	障害児にとっての近代百年(1)(2)(3)	『障害者の福祉』第72.73.75号	(1)24-26 (2)27-29 (3)36-38	1987(S.62)-7 1987(S.62)-8 1987(S.62)-10	
39	山田 明	『特殊児童（戸川行男）』（現代日本児童問題文献選集25）の「解題」	日本図書センター	全25頁	1988(S.63)-1	
40	山田 明	『忘れられた子供たち（石田博英著）』（現代日本児童問題文献選集26）の「解題」 *「解題」の表題は、「戦時下ジャーナリズムの障害者問題認識と障害児保護・教育実践」	日本図書センター	全21頁	1988(S.63)-1	
41	津曲 裕次	『学童の生活調査（教育改革同志会事務局）／東京府（代用）児童研究所報告（東京府（代用）児童研究所）』（現代日本児童問題文献選集27）の「解題」	日本図書センター	全11頁	1988(S.63)-1	
42	柴崎 正行	『愛育の書（三田谷啓著）』（現代日本児童問題文献選集29）の「解題」	日本図書センター	全13頁	1988(S.63)-1	
43	栗原光沢吉	『点字器との歩み』	あずさ書店	全157頁	1988(S.63)-8	
44	飯島十郎編	『三田谷治療教育院 院史稿 前編』	三田谷治療教育院発行	全293頁	1988(S.63)-11	
45	三好 信浩	国際日本を拓いた先駆者Ⅲ 山尾庸三	『明治学院論叢 国際学研究』 第3号	33-52	1988(S.63)-12	
46	山田 明	戦前精神薄弱施設の努力と到達点	『愛護』第379号	71-	1989(H.1)-4	
47	栗原光沢吉	『群馬の盲教育をかえりみて』	あずさ書店	全606頁	1989(H.1)-8	

No	著者名	著書・論文名	誌名・巻号/発行所	頁	発行年月	備考
48	戸崎 敬子	第二次大戦前における「特別学級」(学級成績不良、精神薄弱等)の実態に関する研究(1989年度文部省科学研究費補助金(一般研究C)研究成果報告書)		全84頁	1990(H. 2)-3	
49	栗原光沢吉	『点字の輝きに生きる』	あずさ書店	全197頁	1990(H. 2)-7	
50	日本聾話学校史編集委員会	『日本聾話学校70年史』	キリスト新聞社	全240頁	1990(H. 2)-11	
51	柳本 雄次	『群馬の障害教育を創めた人々』	あずさ書店	全246頁	1990(H. 2)-11	
52	中村 勝二	戦前の歩み(『筑波大学附属大塚養護学校創立三十周年記念誌』所収)	同校発行	21-51	1990(H. 2)-11	
53	高村法保・津曲 裕次	川田貞治郎の「教育的治療法」における国語教育について	「特殊教育学研究」第28巻第4号	1-13	1991(H. 3)-3	
54	岡本 稲丸	わが国近代盲聾教育および聾啞運動と山尾庸三	「日本手話研究所所報」第8号	1-16	1991(H. 3)-5	
55	川合 章	第12回全国小学校女教員大会の特殊教育決議について	「中京大学社会学部紀要」第6巻第1号	1-12	1991(H. 3)-7	
56	船寄俊雄・土井徳生	大阪府師範学校附属小学校の教育治療教室において	「大阪教育大学教育研究所報」No26	19-25	1991(H. 3)-7	
57	小川 英彦	わが国に於ける治療教育学説史の動向—杉田直樹の資料文献の整理を通して—	「社会事業史研究」第19号	133-147	1991(H. 3)-10	
58	下田 知江	『盲界事始め』	あずさ書店	全181頁	1991(H. 3)-11	
59	北野 与一	日本における心身障害者体育の史的研究(第20報)—小学校令時代の開放学校及び特別学級における病弱児体育について—	「北陸大学紀要」第15号	279-303	1991(H. 3)-12	

## (3) 戦後編(その2)—1992~1997年3月—

No	著者名	著書・論文名	誌名・巻号/発行所	頁	発行年月	備考
545	中山 文雄	岩手県における精神遅滞教育の史的研究(2)—明治末・大正期の水沢小学校特別学級—	「岩手大学教育学部研究年報」第51巻第2号	125-145	1992(H. 4)-2	
546	北野 与一	日本における心身障害者体育の史的研究(第19報)—小学校令時代の休暇集落における病弱児体育について—	「北陸体育学会紀要」第28号	53-61	1992(H. 4)-3	
547	吉野由美子	わが国における肢体不自由児施設の歴史的展開(上)—緑成会整育園の歴史を中心に—	「人文学報」第233号(東京都立大学)	177-210	1992(H. 4)-3	
548	前田 朋子	日本聾教育史における口話法指導者の教育理念—日本聾話学校ヘレン・O・ライシャワーを中心に—	「教育学研究紀要」第38巻第1部(中国四国教育学会)	96-101	1992(H. 4)-3	
549	一宮俊一・大橋孝雄	わが国初期の小学校特別学級の性格—長野尋常小学校・後町尋常高等小学校の場合を中心に—	「鳴門教育大学・学校教育研究センター紀要」No.6	27-33	1992(H. 4)-3	
550	長谷川千恵美	身体虚弱児教育形成史の研究—Openair School・Classの受容過程を中心に—	「日本大学人文科学研究所・研究紀要」第43号	129-142	1992(H. 4)-3	

No	著者名	著書・論文名	誌名・巻号／発行所	頁	発行年月	備考
551	戸崎 敬子	大阪市立児童相談所と付設「学園」の成立と展開	「特殊教育学研究」第30巻第1号	37-46	1992(H. 4)-6	
552	飯島十郎編	『三田谷治療教育院院史稿 後編』	三田谷治療教育院発行	全217頁	1992(H. 4)-7	
553	小川 克正	明治期翻訳辞典にみる「特別教育」の用語法	「治療教育研究紀要」第13号 (岐阜大学教育学部治療教育学研究室)	33-45	1992(H. 4)-7	
554	河合 康	新潟県盲教育史—明治・大正期における高田盲学校を中心に—	「上越教育大学研究紀要」第12巻第1号	325-338	1992(H. 4)-9	
555	戸崎 敬子	20世紀初頭における特殊教育の成立と展開	「障害者問題史研究紀要」第35号	7-13	1992(H. 4)-12	
556	飯塚 希世	官立東京盲学校の疎開地における生活	「障害者問題史研究紀要」第35号	41-45	1992(H. 4)-12	
557	高橋 智	わが国における「精神薄弱」概念の歴史的研究Ⅶ—昭和戦前期の主要な著作・学説の検討を中心に—	「日本福祉大学研究紀要（第1分冊・福祉領域）」第88号	125-216	1993(H. 5)-1	
558	戸崎 敬子	『特別学級史研究—第二次大戦前の特別学級の実態—』	多賀出版	全305頁	1993(H. 5)-2	
559	小川 克正	『特別教育の系譜』	近代文藝社	全199頁	1993(H. 5)-2	
560	光明学校の学童疎開を記録する会編	『信濃路はるか—光明養護学校の学童疎開—』	田研出版	全231頁	1993(H. 5)-3	
561	安藤 房治	青森障害児教育史—青森県盲啞学校の設立と戦前における展開—	「弘前大学教育学部紀要」第69号	137-144	1993(H. 5)-3	
562	平田 勝政	戦前の教育学分野における「精神薄弱」概念の歴史的研究—教育学者の乙竹岩造と樋口長市の検討を中心に—	「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第44号	59-78	1993(H. 5)-3	
563	岡本 稻丸	盲聾教育—日本初の盲聾学校創始者古川太四郎（『日本の「創造力」』第4巻 所収）	日本放送出版協会	361-376	1993(H. 5)-3	
564	栗原光沢吉	『光うすれいく時』	あずさ書店	全136頁	1993(H. 5)-5	
565	平田 勝政	戦前の教育実践分野における「精神薄弱」概念の歴史的研究Ⅰ(上)下—東京高師附小「特別学級」歴代担任教師の検討を中心に—	「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第45号	139-167	1993(H. 5)-6	
566	小川 英彦	「療育」概念の成立に関する研究	「社会福祉研究」第57号	95-102	1993(H. 5)-7	
567	高橋 智	日本障害児教育史講義ノート(一)	「日本福祉大学研究紀要（第1分冊・福祉領域）」第89号	55-89	1993(H. 5)-7	
568	高橋 智	障害児教育の歴史と遺産（大久保哲夫・渡部昭男編『障害児教育基礎と実践』所収）	全障研出版部	69-96	1993(H. 5)-8	
569	高橋 智	障害児教育史研究の課題と展望—1980年代以降の研究動向—	「日本教育史研究」第12号	82-100	1993(H. 5)-8	
570	小川 克正	障害児学校教員養成90年摘録	「治療教育研究紀要」第13号 (岐阜大学教育学部治療教育学研究室)	23-57	1993(H. 5)-9	
571	前田 朋子	日本聾話学校におけるアメリカ口話法の受容とその教育史的意義	「日本の教育史学」第36集	95-108	1993(H. 5)-10	
572	玉村公二彦	脇田良吉の「低能児」教育論の形成とその具体化—明治40年代初頭を中心に—	「奈良教育大学研究紀要」（人文・社会科学）第42巻第1号	43-55	1993(H. 5)-11	

No.	著者名	著書・論文名	誌名・巻号/発行所	頁	発行年月	備考
573	川合 章	障害児の教育保障 —女教員大会の特殊教育決議— (同著『日本の教育遺産』所収)	新日本出版社	203-230	1993(H. 5)-12	
574	伊藤 寿彦	新教育における障害児の「共学」 論の誕生—戦前日本における樋口 長市の「共学」論の形成—	「障害者問題史研究紀要」第36号	1-12	1993(H. 5)-12	
575	蒲生 俊宏	戦前「精神薄弱施設」の対象研究 —個人委託における家族問題—	「障害者問題史研究紀要」第36号	21-34	1993(H. 5)-12	
576	小川 英彦	愛知県における児童問題史研究 —児童研究所の果たした役割を中心に—	「障害者問題史研究紀要」第36号	35-44	1993(H. 5)-12	
577	清水 寛・ 伊藤寿彦・ 飯塚希世	障害者教育(東京都立研究所編 『東京都教育史 通史編一』所収) *第二編 第五章 障害者教育	東京都立研究所発行	全997頁 679-713	1994(H. 6)-3	
578	池本喜代正	「白痴」教育施設成立期の滝乃川 学園史研究—運営状況、特に対象 児と職員体制に関して—	「宇都宮大学教育学部紀要(第1 部)」第44号	59-77	1994(H. 6)-3	
579	加藤 康昭	日本の障害児教育成立史に関する 研究—成立期の盲・聾啞者問題を めぐる教育と政策—	「茨城大学教育学部紀要(教育学 部)」第43号	125-142	1994(H. 6)-3	
580	平田 勝政	戦前の社会事業分野における「精 神薄弱」概念の歴史的研究 I —社会事業関係雑誌における「精 神薄弱」関係用語の検討を中心に—	「長崎大学教育学部教育科学研 究報告」第46号	53-65	1994(H. 6)-3	
581	前田 朋子	日本聾教育史における教員養成 —口話教員の就職を中心に—	「教育学研究紀要」第40巻第1 部(中国四国教育学会)	386-391	1994(H. 6)-3	
582	垣尾 泰弘	広島県における障害児学級の成立 過程(1) —明治期を中心に—	「教育学研究紀要」第40巻第1 部(中国四国教育学会)	392-397	1994(H. 6)-3	
583	岡 達夫	本邦の聾学校史	「聴覚障害」第49巻第4号	4-10	1994(H. 6)-4	
584	富岡 達夫	『東京の知能遅滞児教育史序説 (戦前編)』	大揚社	全253頁	1994(H. 6)-5	
585	高橋 智	戦前日本における「軽度」精神遅 滞概念の歴史的展開	「障害者問題研究」第22巻第1 号(通巻第77号)	40-48	1994(H. 6)-5	
586	小松 教之	宮城県師範学校附属小学校特別学 級「第十三学級」について	「発達障害研究」第16巻第1号	67-73	1994(H. 6)-5	
587	平田 勝政	障害者の人権思想の源流を求めて —近代日本における障害者の人権 思想の生成と発展—(山住正己編 『文化と教育をつなぐ』所収)	国土社	315-339	1994(H. 6)-7	
588	小川 克正 下田 知江	小西信八関係資料(1) 一点字むつぼしのひかり追悼号—	「治療教育研究紀要」第15号 (岐阜大学教育学部治療教育学 研究室)	29-48	1994(H. 6)-7	
589	池谷 尚剛	盲学校児童生徒の視覚障害原因の 推移—医学的障害原因調査100年 の推移を中心に—	「治療教育研究紀要」第15号	49-54	1994(H. 6)-7	
590	中山 文雄	岩手県における精神遅滞児教育の 史的(3)—第二次大戦前の仁王 小学校促進学級—	「岩手大学教育学部研究年報」 第54巻第1号	89-108	1994(H. 6)-10	
591	小川 克正	障害児教育教員養成の歴史から見 た当面の課題	「発達障害研究」第16巻第3号	166-171	1994(H. 6)-11	
592	戸崎 敬子	長沼幸一の「精神薄弱」児教育[I] —先行研究の検討—	「高知大学教育学部研究報告 (第一部)」第49号	139-149	1994(H. 6)-11	

No	著者名	著書・論文名	誌名・巻号/発行所	頁	発行年月	備考
593	小川 克正	特殊教育の最初の用語例とその意味 —明治10年代文部省事務分掌規程にみる—	「特殊教育学研究」第32巻第4号	59-66	1995(H. 7) - 1	
594	小川 克正	障害児教育の教員養成の歴史と制度	「障害者問題研究」第22巻第4号(通巻80号)	13-20	1995(H. 7) - 1	
595	山田 孝・ 西川健一・ 藤本文朗	西川吉之助の生涯と口話式聾教育運動	「障害者問題研究」第22巻第4号(通巻80号)	39-50	1995(H. 7) - 2	
596	長崎県ろうあ福祉協会/ 全国手話通訳問題研究会 会長崎支部	『原爆を見た聞こえない人々 —長崎からの手話証言—』	文理閣	全234頁	1995(H. 7) - 3	
597	清水 寛・ 平田勝政・ 伊藤寿彦・ 飯塚希世	障害者教育（東京都立研究所編『東京都教育史 通史編二』所収） * 第三編 第四章 障害者教育 * 第四編 第四章 障害者教育	東京都立研究所発行	全1100頁 281-311 809-838	1995(H. 7) - 3	
598	平田 勝政	戦前の社会事業分野における「精神薄弱」概念の歴史的研究Ⅱ(上) —全国社会事業大会等における「精神薄弱」関係用語・概念の検討—	「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第48号	73-88	1995(H. 7) - 3	
599	前田 朋子	小西信八の聾教育論 —言語教育方法を中心に—	「広島大学教育学部紀要」第一部(教育学) 第43号	57-64	1995(H. 7) - 3	
600	垣尾 泰弘	広島県における障害児学級の成立過程(2) —大正期における児童学会の発足と広島社会協会児童保護委員部の活動—	「教育学研究紀要」第41巻第1部(中国四国教育学会)	401-406	1995(H. 7) - 3	
601	高橋 智	日本の「近代化」と「精神薄弱」概念の成立 —明治期前半の精神病学・法医学領域の検討を通して— (大井先生退官記念論文集刊行委員会『障害児教育学の探求』所収)	田研出版	20-37	1995(H. 7) - 5	
602	庄司 完	三田谷啓の「治療教育」に関する一考察 —「教育的処置」の検討— (同上『障害児教育学の探求』所収)	田研出版	60-73	1995(H. 7) - 5	
603	平田 勝政	戦前の社会事業分野における「精神薄弱」概念の歴史的研究Ⅱ(下) —全国社会事業大会等における「精神薄弱」関係用語・概念の検討—	「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第49号	59-76	1995(H. 7) - 6	
604	小川 克正	小西信八年譜稿	「治療教育研究紀要」第16号	15-34	1995(H. 7) - 7	
605	加藤 安雄	病弱教育の歴史的変遷	「教育と医学」第43巻第7号	13-21	1995(H. 7) - 7	
606	寺崎昌男 前田一男編	『日本の教師③ 障害をおう子どもに学ぶ』	ぎょうせい	全440頁	1995(H. 7) - 9	
607	小川 克正	障害者教育の先達・小西信八	「聴覚障害」第51巻1月号(通巻538号)	30-34	1996(H. 8) - 1	
608	岡本 稲丸	古河(川)太四郎	「聴覚障害」第51巻2月号(通巻539号)	24-28	1996(H. 8) - 2	
609	杉山 博昭	障害者問題における戦争責任 —戦時下の岩橋武夫を通して—	「障害者問題研究」第23巻第4号(通巻第84号)	359-367	1996(H. 8) - 2	
610	清水 寛・ 平田勝政・ 伊藤寿彦・ 飯塚希世	障害者教育（東京都立研究所編『東京都教育史 通史編三』所収） * 第五編 第四章 障害者教育 * 第六編 第四章 障害者教育	東京都立教育研究所発行	全1074頁 281-307 773-806	1996(H. 8) - 3	

No	著者名	著書・論文名	誌名・巻号/発行所	頁	発行年月	備考
611	前田 朋子	戦前期広島県における障害児学級に関する考察	「広島大学教育学部紀要」第一部(教育学)第44号	23-31	1996(H. 8)-3	
612	清水 寛・宗澤忠雄	滝乃川学園小史・戦前篇〔Ⅰ〕—「孤女学院」の創設から石井亮一園長の死去まで—	「埼玉大学紀要教育学部(教育学科学Ⅰ)」第45巻第1号	49-64	1996(H. 8)-3	
613	平中 忠信	小林運平と小樽盲啞学校 一明治期の盲啞教育—	「北海道社会福祉史研究」第4号	5-53	1996(H. 8)-3	
614	平田 勝政	障害児教育の歴史(藤本文朗・小川克正編著『障害児教育学の現状・課題・将来』所収)	培風館	35-45	1996(H. 8)-4	
615	北野 与一	『日本心身障害者体育史』	不味堂出版	全718頁	1996(H. 8)-7	
616	加藤 康昭	障害者教育史研究の視点	「障害者問題史研究紀要」第37号	1-8	1996(H. 8)-7	
617	加藤 美紀 津曲 裕次	戦前の日本における優生学の取り扱いに関する研究—国定教科書等の記載の分析から—	「障害者問題史研究紀要」第37号	27-35	1996(H. 8)-7	
618	金澤 貴之	「障害者問題」の成立過程に関する一考察—明治15年前後における東京府養育院の在院者変化から—	「障害者問題史研究紀要」第37号	43-51	1996(H. 8)-7	
619	平田 勝政	明治期における「精神薄弱」関係用語・概念の研究—「低能児」概念を中心に—	「日本教育史研究」第15号	33-65	1996(H. 8)-8	
620	清水 寛	滝乃川学園小史・戦前篇〔Ⅱ〕—戦時下の滝乃川学園(1)—	「埼玉大学紀要教育学部(教育学科学)」第45巻第2号	13-28	1996(H. 8)-9	
621	前田 朋子	昭和初期名古屋聾学校における教員養成講習会—その講習内容と資格—	「特殊教育学研究」第34巻第2号	41-47	1996(H. 8)-9	
622	平中 忠信	小林運平	「聴覚障害」第51号第10月号(通巻547号)	33-37	1996(H. 8)-10	
623	第二次大阪養護教育史研究会	大阪養護教育史研究第14号	同会発行	全298頁	1996(H. 8)-11	
624	筑波大学附属盲学校編	『今日の視覚障害教育—筑波大学附属盲学校創立120周年記念誌—』	第一法規	全510頁	1996(H. 8)-11	
625	北野 与一	『障害者教育・福祉の源流』	味堂出版	全145頁	1997(H. 9)-1	
626	平田 勝政	近代日本における「特殊教育」概念の形成—学校教育法の「特殊教育」概念に関する歴史的検討—	「障害者問題研究」第24巻第4号(通巻第88号)	4-17	1997(H. 9)-2	
627	清水 寛	滝乃川学園小史・戦前篇〔Ⅱ〕—戦時下の滝乃川学園(2)—	「埼玉大学紀要教育学部(教育学科学)」第46巻第1号	1-15	1997(H. 9)-3	
628	清水 寛	滝乃川学園の戦時期の保母・安藤春について—その生い立ちから学園の保母として活動するまで—	「埼玉大学教育研究指導センター紀要」第10号	21-30	1997(H. 9)-3	
629	清水 寛	東京における太平洋戦争下の障害児教育〔Ⅰ〕—視覚・聴覚障害教育の状況—	「東京都教育史年報」第4号(東京都立教育研究所)	3-16	1997(H. 9)-3	
630	清水 寛・平田勝政・伊藤寿彦・飯塚希世	障害者教育(東京都立研究所編『東京都教育史 通史編四』所収) *第七編 第六章 障害者教育 *第八編 第四章 障害者教育	東京都立教育研究所発行	全1370頁 347-391 909-936	1997(H. 9)-3	